



Minami Wakayama
Medical Center

Vol.64

発行：令和5年5月

南 輝

なんき

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センターだより



熊野古道

基本理念 思いやりのある医療を実践します。

あなたの権利を尊重し
あなたを中心とした
あなたに適した医療を提供します

1. プライバシーの尊重を実践します。
2. 親切・丁寧なケアを実践します。
3. わかりやすい説明と納得による診断治療を実践します。
4. 地域医療機関との連携強化を図ります。
5. 自ら研鑽に努め、良質な医療の提供に役立てます。



Minami Wakayama
Medical Center

南和歌山医療センターの基本理念である
『思いやりのある医療を実践します』に基づき、

1. 明るく (A)
2. 挨拶があり (A)
3. 愛のある (A)
4. アカウンタビリティ (納得説明義務) (A)

の4つの頭文字のAを基本デザインとしています。

これは丸みをおびた形でやさしさを表現し、4つの理念が集まることで、空 (明るい未来) に向かって羽ばたく鳥を表しています。4つのカラーは黄色が明るさ、赤が愛、青と緑は南和歌山の自然の象徴である綺麗な海と、山を表現し、南和歌山医療センターの環境の良さもアピールしています。

受診者の皆様の義務

- 南和歌山医療センターは受診者の皆様と病院の双方がお互いに尊敬し、協力し合うことが安全かつ良質な医療の提供につながるものと考えています。
- 受診者の皆様には以下の事項に合意し、守っていただく必要があります。
1. 安全かつ最善の診療のためにご自身の身体や必要事項に関する情報を、私たち職員に正確に伝えていただくこと
 2. 検査・治療は説明を受け、納得・合意の上で受けていただくこと
 3. 当院は近隣の医療機関と連携して専門性の高い医療を提供する急性期病院である。救命救急、がんに対する医療と緩和ケアを提供する病院の役割をご理解の上、診療体制維持に協力いただくこと
 4. 病院内では静粛を保ち、院内のルールに従っていただき、他の来院者や入院中の方に迷惑をかけることのないよう配慮していただくこと
 5. 病院内ではお互いに礼儀正しく思いやりのある態度で接していただくこと
 6. 医療費の支払い請求を受けたときは遅滞なくお支払いいただくこと

受診者の皆様の権利

- 患者としてあなたには
1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
 2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
 3. 個人情報を守られる権利があります。
 4. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 5. 治療法を選択できる権利があります。
 6. 治療法について、第三者の意見を聞くことが出来る権利があります。
 7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

副院長就任のごあいさつ



副 院 長 橋 爪 俊 和 (はしづめ としかず)

この度、令和5年4月1日付で南和歌山医療センター副院長に就任を命ぜられました循環器科の橋爪俊和と申します。恥ずかしながら、平成4年開院時の心臓カテーテル開始時にお手伝いとして週1回和歌山県立医大から派遣（現在の後期研修医）で1年間来させて頂きました。その後、循環器科医長として平成8年から平成17年までと、平成18年から現在に至るまで、さまざまな職名を併任して勤務させて頂いております。毎年、さまざまな活動部署を与えて頂き、1年目の繰り返しで経過した四半世紀余りです。平成25年から臨床研究部長として、令和2年からは統括診療部長との併任として、職員の皆様方の裏方に徹して臨床とともに微力ながら活動してまいりました。本年も新たな任命職で1年目として、常に初心とならざるをえない環境であり、心はいつも緊張しております。この原稿を草案しているのは野球のWBCで日本が優勝した時期で、組織の団結や連携ということの重要性を改めて認識致しました。医療も地域連携・院内連携の重要性についてかなり以前から言われておりますが、本当の連携ができていかどうかは、その組織の成長・発展が結果を表しているものと考えます。個々がどんなに優れていても全体で連携が取れないと、医療分野でも組織としてうまく活動し、結果を残すことはできないと思います。コロナ禍で医療機関は様々な連携が必要であることを学び、実践に結び付けました。この実体験を無にしないよう、しっかりと知識として残し、さらにそれを組織の知恵に生かし続けることが今後の重要な課題になると思います。中村院長のもと、重責を果たせるように皆様方・当院職員からのご支援を頂戴しながら微力ではございますが、できることを着実かつ方向性と継続性をもって実行していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

統括診療部長就任のごあいさつ



統 括 診 療 部 長 横 山 省 三 (よこやま しょうぞう)

平素よりご高配賜り誠にありがとうございます。

このたび4月3日付で統括診療部長を拝命いたしました横山でございます。

2018年10月より当院に赴任し、消化器癌を中心に紀南地区の腹腔鏡下手術の充実に努めてまいりました。また、地域連携室長として地域連携に携わせていただきました。皆様方のおかげで、当院の外科における手術件数も増加し、地域連携も充実してまいりました。ありがとうございます。このたび、統括診療部長に就任し、地域における当院の機能をさらに向上すべく頑張りたいと考えております。

これまで、コロナ禍にてたいへん厳しい状況でございましたが、5月には5類に変更され、これまでの日常が戻ってきます。しかしながら、これから日本全体の医療におきまして、さまざまな変化が起ころうとしています。まずは医師働き方改革です。医師が今までのように勤務することが難しくなり、連続勤務時間制限28時間、勤務間インターバル9時間の確保、代償休息が必要となります。日本全国の病院がどのように地域医療を維持していくかに頭を悩ましています。医療の質を落とすことなく、医師の働き方改革に対応できるようなシステムづくりが必要です。また、病床の機能分化・連携をめざした地域医療構想により、地域完結型をめざした医療が必要です。外科におきましても、昨今の外科医不足により、紀南地区、和歌山県全体での連携が必要となってきています。大学医局、地域の病院と連携して、和歌山県内での医療施設間での協力体制の構築が必要です。今後は、これまで以上に地域での連携を強化し、田辺医療圏の地域医療の充実に尽力したいと考えております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新任医師紹介

どうぞよろしくお願ひ致します。



病棟診療部長 整形外科医長 延 與 良 夫 (えんよ よしお)

2023年4月より南和歌山医療センター整形外科に赴任して参りました延與 良夫(えんよ よしお)と申します。これまでは和歌山県内の関連病院にて勤務しておりました。脊椎、脊髄疾患(せぼねの病気、けが)とくに低侵襲手術を専門にしておりますが、整形外科疾患は多岐にわたり一般外傷(四肢の骨折、けが)、関節疾患(膝、股、肩)、手部・足部疾患も積極的に加療させていただければと思います。近年では骨粗鬆症にともなう脆弱性骨折が増加しており、手術加療・保存加療さらには予防も含めて関わっていきたくて思っております。整形外科疾患をとおして紀南地域の医療の貢献できるよう努めたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。



救命救急科医長 柴 田 尚 明 (しばた なおあき)

2023年4月より南和歌山医療センター救命救急科へ赴任しました柴田尚明と申します。これまでは和歌山県立医科大学附属病院にて、救急医および集中治療医として勤務しておりました。また、救急放射線領域も勉強させていただき、画像読影および止血やドレナージなどの緊急IVRも行ってきました。これらの経験を活かし、紀南地域の救急・集中治療に貢献していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



呼吸器科医師 高 瀬 衣 里 (たかせ えり)

本年4月より呼吸器科に赴任しました高瀬衣里と申します。和歌山県岩出市出身で、紀南地区での勤務、生活は初めてでワクワクしております。今まで和歌山県立医科大学附属病院や、地元であります公立那賀病院で勤務し、肺癌や間質性肺炎、また新型コロナウイルス感染症の診察に携わってきました。地域の患者様が安心して医療を受けられるよう励みますので、どうぞよろしくお願ひします。



脳神経外科医師 峯 地 顕太郎 (みねじ けんたろう)

2023年1月より南和歌山医療センター・脳神経外科に赴任して参りました峯地顕太郎と申します。出身は紀南地方であり12月末までは和歌山県立医科大学附属病院・脳神経外科で勤務しておりました。この度は地元で医療を行えることをとても嬉しく思っております。患者様や先生方、コメディカルの方々から信頼されるような医師を目指し、日々精進を積んでいく所存です。

脳神経外科診療を通じて地元へ恩返しができるよう精一杯努力しますので、よろしくお願ひ申し上げます。



脳神経外科医師 中 島 翔 太 (なかしま しょうた)

2023年4月より南和歌山医療センター脳神経外科へ赴任しました中島翔太と申します。これまで和歌山県立医科大学、済生会和歌山病院の脳神経外科で勤務しておりました。南和歌山医療センターでは脳卒中など一般的な脳神経外科疾患の診療を行い、紀南地域の医療に貢献できるように努めていきたいと思っております。至らぬ点も多々あると存じますが、今後ともよろしくお願ひ致します。



外科医師 堀 雄 哉 (ほり ゆうや)

2023年4月より南和歌山医療センター外科に赴任して参りました堀雄哉と申します。これまでは和歌山県立医科大学附属病院にて勤務しておりました。胆石・鼠径ヘルニアなどの良性疾患、胃がん・大腸がんなどの悪性疾患ともに外科治療を中心に患者様に貢献できればと考えております。若輩者ではございますが、紀南地域の医療に貢献できるよう努める所存ですので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



麻酔科医師 塩崎卓哉 (しおざき たくや)

2023年4月から南和歌山医療センターの麻酔科に赴任して参りました、塩崎卓哉と申します。手術室での麻酔管理が主な業務となります。麻酔は痛みや意識をなくすだけとされている患者さんも多いですが、実際は、手術のストレスに耐えられるようにあらゆる手段を使って全身を管理し調整する、とても奥深い仕事です。麻酔管理が適切であれば、患者さんに「寝たら終わった」「全然痛くない」と言ってもらえます。このような仕事ができることに、私はとてもやりがいと誇りを感じています。

私の地元は奈良県ですが、医師として働き始めてからは和歌山県に移ってきました。引っ越ししてすぐに、人々の温かさ、食べ物の美味しさ、住み心地の良さに驚きました。今では第二の故郷だと思っております。このような素敵な地域の医療に貢献するため、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



放射線科医師 居平浩延 (いひら ひろのぶ)

本年4月から南和歌山医療センターに赴任して参りました、放射線科の居平 浩延と申します。以前にも、和歌山県立医科大学附属病院から当院に赴任したことがあり、2度目の紀南地域での勤務となります。主に画像診断を通じて、地域の医療に貢献できるよう努力して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。



内科医師 長井善隆 (ながい よしたか)

初めまして。内科で勤務させていただきます。今まで和歌山各地の病院で勤務させていただきました。南和歌山医療センターは研修医の頃に救急科でお世話になってから7年ぶりになります。今まで培ってきた知識と経験を元に田辺市や和歌山県南部の皆様健康に役立てるように診療を行い、また自分自身の知識・技術の向上を目指して研鑽させていただきます。まだまだ若輩ではございますが誠心誠意医療に従事しますので、皆様何卒宜しくお願いいたします。



内科医師 仁木龍登 (にき りゅうと)

2023年4月より南和歌山医療センター内科に赴任して参りました仁木龍登と申します。和歌山県立医科大学を卒業後、和歌山県立医科大学附属病院にて研修を行い、同病院腎臓内科に所属しております。

地域医療枠の地域派遣にてこちらの内科へ配属となりました。糖尿病や感染症、電解質異常など幅広い疾患の診療に携わりたいと考えています。まだまだ経験不足でありご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



歯科口腔外科医師 角谷有吏子 (すみや ゆりこ)

2023年4月より南和歌山医療センター歯科口腔外科に赴任となりました角谷有吏子と申します。これまでは和歌山県立医科大学附属病院歯科口腔外科で勤務をしておりました。

今後は2人体制の診療となり、皆さまに更に充実した医療を提供できるよう尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

編集後記

新型コロナウイルス感染症も2類感染症から5類感染症となり、みなさまの生活環境も大きく変化したかと思えます。今まで制限されていたことが可能となり、外出や会合など、どんどん活気づいてきているのではないのでしょうか。春から夏にかけてはメンタル的にも体調の変化がおこりやすい季節です。また、これから暑くなってくるので、体調崩されませんようご愛ください。

統括診療部長 横山 省三